



# レインボー保育園だより

社会福祉法人 レインボー保育園  
〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町2030-4  
TEL. 045-811-3328 FAX. 045-811-2730

第 493 号  
平成28年10月

## 基本的な生活習慣を身につけさせる

※早寝早起きをしましょう



### 大切な日々は 人それぞれに用意されている？ 斉藤 和子

自分の親の様に生きられるかといえば、そうはいかないまでも、見てきて後姿は忘れない。4人の子育てを丁寧に（大人しい母は、よく話を聴いてくれた。一方父は熱心に教えてくれた。）向き合い、一緒にいられる時間はそう長くはなかったけれど、たくさん喜びと励ましを残してくれた。

下宿をすることになり、親元を離れたのは大学生になった時。大家族からひとりぼっちの心もとない自分を支えてくれたのは両親の道筋のつけ方と志だった。大家さんばかりか、ご近所へのご挨拶を一緒に歩きながら進む道を地慣らししてくれた。毎日修業気分のひ弱な私を支えてくれたのは兄のプレゼントのラジオ。以来44年の役目を果たした優れものだったが、つい先日音の出ない箱になってしまった。

日々のニュースから子育ての相談まで、ラジオから多くの情報を得た。今、メディアは一変し私世代もPC、スマートフォンの早さ便利さは不可欠な毎日に。それでも、生の声や優しさ、温かさを感じる直接の五感はどこで育つのかと問えば、幼い頃日々受けたであろう家族や善意の人たちと過した、何気ない時の積み重ねではないだろうか。大切なひとと、ゆったり過ごす時間そのもの。

9月14日、子育て支援拠点で、保育園のお話しをする機会を頂いた。仕事復帰を考えている11組の親子さんの声を聞く場で、仕事と子育ての両立を力まずともできたらいいなという思いで、お話しをした。子どもさんの笑顔を支えに、心と身体の成長を願い見護る毎日です。

### 連絡事項

- 夏まつりに際し、多くの方々にご支援ご芳志を賜りました。有難うございます。  
ラムーナ自治会様、文教印刷様 役員様始め皆様、卒園生、地域の皆様のお蔭をもちまして、楽しくにぎやかな夏まつりになりました。有難うございます。
- 10月3日より長袖スモックに衣替えします。（運動会後を調整期間と致します）
- 戸塚区の子育て支援事業とことこフェスタに今年もスタッフとして斉藤、篠塚、平松が参加しました。1000人を越えるご利用があり園児さんの参加も見られました。有難うございました。



**今月の目標** 今月は秋の自然を楽しめるよう、戸外に出てたくさん遊びたいと思っています。季節的にも身体を動かす事が気持ちよい時でもありますので、自然と触れ合いながら外での活動を充実していきたいと思います。

### 10月の保育予定表

日	月	火	水	木	金	土
					体育指導	運動会 (上矢部高校) 8:45~13:30
↑運動会 2	衣替え 3	造形指導(くま) 4	おひさま保育参加 5	クッキング(くま) おひさま保育参加 6	体育指導 7	8
9	祝・体育の日 10	11	12	お話し 13	体育指導 14	15
16	17	造形指導(くま) ランチ交流 18	交通安全指導 ことり保育参加 19	誕生会 身体測定 20	体育指導 ことり保育参加 21	22
であい秋まつり 作品参加 23/30	24/31	太陽の国交流(くま) ことり保育参加 25	くすのき保育園交流 (くま) のびのび交流(0・1歳) 26	27	体育指導 28	29

こんなこと

あったね!

斉藤 千穂

9月の敬老の日に向けて子ども達は大好きなおじいちゃん・おばあちゃんにハガキを送っています。各グループ心をこめて製作し、元気をたくさん届けましたよ!!

くまグループは、こすりだしで色をつけ、葉っぱを作りハガキの周りに貼り、真ん中には顔・字を書きました。うさぎグループは、パステルで柿を作りました。りすグループは、背景にパステルで色をつけ、折り紙でブドウを折りました。



ことりグループは、コスモスの花びらを両面テープで貼り、真ん中の丸い画用紙はのりづけしました。おひさまグループ1歳児は、指スタンプでトンボの羽を作り、0歳児は、足型でトンボの体を作りました。どのグループも素敵な作品になりましたね。ハガキ製作を通して敬老の日の意味を知り、思いやり・優しさを大切にする気持ちを学んでくれたら…と願っています。



0歳児

1歳児



2歳児

3歳児



4歳児

5歳児



4月からレインボー保育園で栄養士をさせて頂いております、渡邊亮と申します。よろしくお願い致します。

今回は「食育」についてのお話をさせて頂きます。

国の方針で「食育活動をすすめよう」と言われるようになって久しいですが、食育とはいったいどんなことでしょうか。

まず、幼少期に一番最初に身に付けて知って欲しいことは、「いただきます」の意味を知ることです。「いただきます」の本当の意味は「お命をいただきます」ということです。食物にも

命が宿っていることを知ることで、他者を思いやる気持ちや、命を大事にする健全な心を育くむことに繋がると思います。

「食育」という言葉には、食に関する知識を身に付けるという意味だけではなく、「食」を通じて人々の心の豊かさを「育」くむという意味が込められていると、私は考えています。

子ども達にも給食や日々の活動を通して、食の大切さを伝えていけるよう、努めていきたいと思っております。

